

集会案内

日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokuyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎石叫■

「矢内原忠雄」②

不断から丈夫な家に住んでいる人は、暴風雨が来ても雨も一つしなないように、平素から神を信じて神を避所とし、神の軒の下に昼も住まい夜も宿っている者には、如何なる危険が周囲に突発してもその生命は安らかであります。たといこの肉身の生命は失うことがあっても、永遠の生命を与えられて、神の栄を目的の当たり見せていただくのであります。このようにして私どもは匪賊の害から救われました。列車は夜明け前に双城堡までいったん引返し、夜が明けて後事故の起こった場所まではまたその列車で、そこからは日本軍の装甲列車に収容せられて、無事ハルビンに着きました。それは九月十二日正午過ぎであります。こうして無事であったのは如何なる意味があるか私は知りません。正直なところ、自分は一度死んだものとして余命を神に捧げて奮闘するというような悲壮な精神を私は実感しません。私は事件後も前と同じように、あたりまえの信仰生活を続けて行くだけです。ただ解りましたことは、神様が信ずる者を守り給うこと、そしてその守りを受けた私は神の恩恵を万人の前に言い表そうとだけあります。今後何度も何時までもこの神の御恵を言い表して止まないであります。『矢内原忠雄全集』第十一巻、岩波書店、八八〜九〇頁。

矢内原忠雄が軍部に迫害され、昭和十一年（一九三六年）に東大教授を辞職し、以後特高に監視されながらも「嘉信」を発行し、信仰者の道を全うすることができたのは、このような不思議な神の守りを経験したからにほかなりません。（『詩篇を味わうIII』鍋谷堯爾著、いのちのことば社・三六〜三九頁）

この矢内原忠雄の劇的な証しを通して、彼が守られたのは、ただ信じる者を守るという一方的な神の約束に他ならないことを知るのである。「主はその羽をもってあなたをおおわれる。あなたはその翼の下に避け所を得るであろう」

（詩篇九一・4）とあるように、神のみ言葉を現実体験する時、み言葉に対する信仰の確信が生まれる。それによって、キリスト者が迫害され、投獄され、虐待された戦時下の日本でも、矢内原忠雄は信仰を貫くことが出来たのである。そのようなだ。主はご自身の下に身を寄せる者を守って下さるといってお約束は、信じる私たちすべてに与えられている。神を信じる者の幸いがある。

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。